

# 三心を磨く

学校だより No. 1

令和5年4月6日(木)発行

須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 令和5年度 須坂市立東中学校 入学式・始業式

◇◇◇ 希望を胸に 54名の新入生を迎え 全校154名の新たなスタートです ◇◇◇

### 【学校長式辞】

「春が来たから梅の花が咲くのではない。梅の花が咲くのに誘われて春がやってくる」という教えがあります。今堂々と入学してくる新入生の新しい制服姿を見ていると、新入生の皆さんが中学校に入学する準備が整ったから、そしてここまで成長したから、それに合わせて今日ここに入学式という日を迎えたんだなということを感じます。

54名の新入生の皆さん、東中学校への入学おめでとうございます。本日は皆さんの入学をお祝いするために、大変お忙しいところ、須坂市長 様をはじめご来賓の皆様にご臨席を賜りました。新入生と共に心から感謝、御礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん。東中学校はこれまでに6110名の卒業生を数え、多くの立派な人々を輩出した歴史ある中学校であります。ここに同席している進級したばかりの2年生と3年生99名、職員28名が皆さんの入学を心から歓迎いたします。

3年間に渡るコロナ禍が5月8日を以て一区切りとなります。このコロナ禍で私たちは多くのことを学びました。一つは、このコロナ禍で様々な差別、誹謗中傷が生まれました。恐ろしいのはコロナウイルスではない。恐ろしいのはそのコロナウイルスによって人々が分断されてしまうことなんだ、ということを知りました。私たちの在り方、生き方が問われた3年間でありました。お互い共に生きる人間同士、理解し合って共に進める東中学校でありたいと思います。

当たり前なのが、当たり前ではなかったんだということも教えられました。このように全校生徒が集まっての行事の開催が難しかったことが多々ありました。様々な活動が制限されてしまいました。今思うと、当たり前と思っていた生活が、本当はとても大切なことであり、感謝して生きていかなければならなかったことを教えられました。自分の周りの環境に感謝、地域に感謝、家族に感謝、そして自分自身にありがとうという思いで生活をしていきましょう。プレイエルにいのちを吹き込んだ東中学校の生徒の皆さん、プレイエルについて6年生の時に考えてくれた新入生の皆さんは、これまで命について考えてきました。どんな命も大切にできる東中学校でありたいと思います。

4月に、桜の木が美しいピンクの花びらを咲かせるために、1年という時間をかけて準備してきているのなら、新入生の皆さんは小学校での6年間という時間をかけて、中学校での生活で自分を自分の色に染めていく準備をしてきました。今まさに、自分という花を咲かせる時が来ました。この東中

